



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
アジア区主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
西日本区主題 「すべての命を大切に」 --- いのち・平和・環境 ---
京都部主題 豊かな心 熱き思い --- 555実現に向けて ---
メネット主題 「メネットのねがい」を広げ、その喜びを共に分かちあいましょ

クラブ主題
**語り合おう
ワイズで**
思いやり 笑顔

聖句

見よ、おとめが身ごもって男の子を生む。その名はインマヌエルと呼ばれる。この名は「神はわれわれと共におられる」という意味である。

マタイによる福音書1章23節

次期国際会長雑感

東京江東クラブ 藤井 寛敏



昔職人仲間では「段取り8分」と言ったそうですが、すべては準備をするかしないか、または準備の仕方とその仕事のほとんどは決まるということだと思います。今、ワイズの国際では各地域（国際ワイズはアジア、インド、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、ラテンアメリカ、アフリカ、南太平洋 8 オーストラリアの8つの地域に分かれており、そこに40人の理事がいます）で次期理事研修会が開かれております。すなわち「段取り」の段階であります。私は次期国際会長として主題、スローガンとともに基本方針を伝え、次年度の各区の活動方針の指針としてもらうため各地域の研修会に出席しております。通常は2泊3日で私のほかにISG(国際書記長)が理事としての基本的な心構えと役割などを伝え、詳細については各地域のリーダーが講師を務めます。皆様のところでも新入会員のオリエンテーションから始まってクラブ、部、区の役員研修会が行われますが、国際でも次期理事研修会のほかに地域会長や立法機関である国際議会の議員（国際で21人）の皆さんもそれぞれの会議の前1日を使って研修を受けます。このようにして行われるすべての研修会におけるそれぞれの役職に関する知識はそう膨大なものではありませんが、リーダーとして選ばれたそれらの人たちに如何にやる気になってもらうかに重点を置いた研修が望まれることはいうまでもありません。モチベーションの高揚が段取りを促進します。

私は前述の次期理事研修会の中で新しいリーダーの発掘と登用を重点の一つとして掲げており、その手段として" On the Job Training"の実践を呼びかけております。その人の潜在的な力を認めた上で情熱（やる気）さえあれば多少経験が少なくてもリーダーとして登用くださいと訴えております。ただしその人にベテランのリーダーを相談相手を指定してもらい陰で新しいリーダーを支えるようお願いしております、実際の仕事を通じて衆知に心を開く新たな経験をし、そしてその喜びにも出会い、モチベーションが高まって、リーダーとしての資質を高めていくのが狙いです。

研修会と" On The Job Training"が相乗効果で若い、新鮮な、優秀なリーダーを作り上げていくのです。これは国際のレベルだけでなくクラブから部、区のレベルに言えることであり、そのようなリーダーたちがわれわれの価値ある運動を次の世代に伝えるための架け橋となるのだと思います。

明日から高齢化が最も進んでいるアメリカの次期理事研修会に出発します。はたしてかの地で若い新鮮なリーダー候補生に出会えるのでしょうか。

会長 金丸 太一郎
副会長 三村 良行
書記 古川 安雄
会計 小泉 洋

12月例会案内

2日(水) 第一例会

NPO法人"SORD" 常任理事で、自らも難病に苦しめられている中岡亜希子様をお迎えして、希少難病患者の方々の実情をお聞きする

23日(水) Xmas例会

めいぶる、ウエルクラブと合同でのクリスマス例会、グランドプリンスホテルで開催。子供達のキャンドルサービスで始まります。

例会出席	
11月第1例会	11名
11月第2例会	13名
在籍者数	17名
出席率	82.4%
前回出席修正	

BFポイント	
切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ニコニコ	
11月第1例会	11,000円
11月第2例会	7,000円
累計	37,000円

ファンド	
じゃがいも	269,845円
累計	302,965円

強調
月間

EMC membership

人は力です。みんなの力で2000目指してゆきましょう。

廣井武司 EMC事業主任



やっと、朝夕の冷え込みが徐々に厳しくなってきた11月4日、当クラブより今期西日本区 EMC事業主任としてご活躍頂いている廣井ワイズ企画運営の元、11月第一例会が開催されました。冒頭よりお忙しい中、今期EMC事業主任として参加された他の部会の様子や、西日本区他クラブの現状報告を聞かせていただきました。特にEMC事業主任のお役目柄、各クラブメンバー数の動向についてのお話为中心でした、会員増強に苦戦をしている部が多い中、メンバー増強を確実にしている九州部の報告や、なかなか増強の結果が伴わないけれど、各部、各クラブに於いてはメンバー獲得に対する熱き思いで日々の活動を熱心にされている旨の報告を詳細にして頂きました。我がプリンスクラブの状況も、我々を取り巻く厳しい社会情勢の中退会によるメンバー数の減少に歯止めが掛からない状況で、クラブ運営にとっても危機的状況であることはプリンスメンバーの共通認識であると思う。2年後に25周年を迎えるクラブとしてメンバー増強を含め、今一度メンバーがプリンスクラブに対してそれぞれが行動を起こすべき時だと思う。(個々の力の結集)

この後2人一組になって廣井ワイズが他の部会で行われた、環境問題に関する双六で楽しいひと時を与えていただき感謝！
廣井EMC事業主任が体調管理をされ元気で残り半期を無事任期を満了されることを願います。頑張ってください！



今週初めより寒気の到来で北山も白くなるほどで晩夏から秋を通り越し冬の到来を思わせる。洛北に位置する例会場もさぞかし冷え込むのではないかと思ひながら会場に到着。会場に入ると、テーブルが2つに各テーブルの椅子の数は5脚と6脚。即ち出席者は11名を意味し気候の急変でメンバーも外出を控えたのか寂しい例会となった。

しかしながら廣井EMC主任の話に始まるECOに関するゲームは2人一組となりxxx枚のカードを設問にあわせて順番に繋ぎ合わせる尻取りゲームは出席者が少ないにもかかわらず熱気あふれるものであった。それぞれのカードに記載されている設問は日ごる目にし、耳にする内容であるが、いざ真剣に考えるとなかなか答えが出ず2人で意見を交換しながら時の過ぎるのをしばし忘れるほど。聞くとこのゲームはどこかの部会で発表されたものとのこと。設問の内容如何にかかわらずメンバー同士が一つの解を求め互いの意見を出し合ったことは直近では記憶にない楽しいものであった。

メンバー増強が必要であることは解っていてもリクルートの難しさで増強は遅々として進んでいない。現状打開に今回の尻取りゲームのように、事業を無理なく実施するためには、クラブの財政的健全化には、どの年齢層を、どの職種の人達を、どこでどのようにリクルートするかなど具体的にメンバー間で話し合いをしてリクルートに必要なことを互いに再認識する必要があるのではないのでしょうか。他人事のような発言にお叱りを受けること必定ですが、この問題の解は那邊にありや？ふと思う次第です。



メンバー自己紹介コーナー

古川安雄です



私の入会動機と現状をお伝えさせていただきます。入会させて頂いて、そろそろ8年目に突入します。今まで、ワイズメンの一員として振り返ると、プリンスクラブの皆様非常に感謝しております。それは、今後の私の目標や、やるべき事が、どのような心構えで行動すれば良いのかをはっきりさせて頂いたと言う事です。プリンスクラブに入会させて頂いた事が切っ掛けで、YMCAに携わっておられる方々と出会い、他のワイズの方々とも出会い、LD委員を仰せつかって出会う方々の範囲が一層広がり中身の濃いものとなり、今までは無縁であった教会や聖書を理解する機会も持て、人格形成の教養の一つとしております。そして、私の日頃の心構えもより良い方に変化して行ってる事に気づき、今後のご奉仕の目標がはっきりしてまいりました。私はまだまだ微力ですが、兼ねてから考えてました障害のある社会人の方々への就労の場を作る事業を私の目標としてはっきりと持つ事が出来ました。現在は、地元の方々と一緒に推進しております。

子供の頃より母子家庭で、母、妹、母方の祖父母との暮らしの中で時間的にも金銭的にもゆとりの有る暮らしとは言えなかったかも知れません。母は、商売人のお嬢様として何不自由無く育ったそうですが、僕ら兄妹は周囲の援助無く自分で育てると言ったそうで、母の兄妹、従兄弟等商売人が殆どで、いつでも援助するという話を断り、実際にそうして自ら苦労して育ててくれました。兄妹共に母、祖父母の愛情に支えられて育ちました。学校の友達、先輩、先生またご近所の皆様にも暖かく支えられ、人の有り難さを体験して育ちました。いずれ社会人になったら少しは人の役になれる事をしたいと心に持ち、クラブの入会動機もご奉仕ができるのならという気持ちでした。今後も、障害の有る社会人の方々への就労事業を右往左往しながら地元の方々と共に進めてまいりますが、私自身をこの様な活動に導いて頂いた切っ掛けをお作り頂いたイエス様とプリンスクラブの皆様感謝申し上げます。誠に有り難うございました。



11月第2例会は、EMC・25周年夢委員会アワーでした。京都部EMCシンポジウムに学ぶと題され、はじめに10月4日に開催された京都部EMCシンポジウムを確認しました。金丸会長による報告及び西村寛子メネット主査のブリテン11月号の記事のおかげで、参加しなかった私にも概要がわかりました。

そして、「小堀理論」とされているワイズ読本の小堀憲助氏の記事を確認しました。親睦の大切さを強調されている点が印象的でした。また、森委員長の入会から今日までのワイズライフのお話を聞きました。入会直後の総会を欠席したことから例会出

席の大切さに気付かされ、出席を心がけていることやいろいろな大会などに積極的に出席することで親睦の輪が広がり、ワイズライフを楽しめたとのお話が印象に残りました。最後に25周年に向けサバエに防音壁を作るなど、子どもたちはもちろん我々も楽しめるキャンプ場にしていけば、面白いクラブだと自信を持っていえるのではないかとまとめました。廣井EMC事業主任からも、若い人の入ってきやすい土壌を作って、楽しく25周年を迎えられればとのお話がありました。ニコニコでも多くの発言があり、活気ある例会となりました。



こんにちは。2回目のブリテンとなります。まだワイズ駆け出しの保と申します。

先日11月18日 約2ヶ月半ぶりに例会に出席しました。『2ヶ月半も何をさっぼっとたんや!』と怒られそうですが、私の甲斐性のなさや能力不足で仕事に振り回されてきて、未だ目がまわっているような状態です。

さて、例会の感想ですが、いつもどうりの進行から始まりEMC事業についての話が沢山ありました。EMC? 『通販で売ってる振動で腹筋鍛えるやつ?』なんて勘違いは、今回はしませんでした。まだまだ分かっていない事ばかりで、勉強不足を反省しています。

例会の中盤から終盤にかけては、森委員長のワイズ入会のきっかけから、御自分のワイズでの歴史やボランティアやワイズの考え方を拝聴させていただきました。『なるほど』と思うところや『?』と思うところもありましたが、何より森委員長が、とても幸せそうに話されるので、私も幸せな気分をわけていただきました。ありがとうございました。

例会の中盤から終盤にかけては、森委員長のワイズ入会のきっかけから、御自分のワイズでの歴史やボランティアやワイズの考え方を拝聴させていただきました。『なるほど』と思うところや『?』と思うところもありましたが、何より森委員長が、とても幸せそうに話されるので、私も幸せな気分をわけていただきました。ありがとうございました。



オータムフェスタ 宇治リトリートセンター

2009年11月15日
小野 敏明



去る11月15日(日)、宇治リトリートセンターで開催されたオータムフェスタに家族を連れての参加。参加する機会に恵まれず、Y s3年目にしての初参加。リトリートセンターには開始時間の10分遅れで到着。が、すでにガレージ満車の状態。なんとか車を滑り込ませ、家族と共に賑やかな屋台街へと繰り出す。

受付を済ませて、早速の屋台見学。焼きそばに始まり、ガーリックライス、串カツ、たこ焼き、ポップコーン、たこせん、スープに肉まん、チーズフォンデュ、バーベキュー、みたらし団子、和菓子など、前菜からメイン、デザート、最後は食後のコーヒーまで。いづれの屋台も本格的

で、ほんとに美味しい。全てを食そうと欲張って家族全員食べ過ぎる・・・。

食べ過ぎた後は運動。子供を連れて縦横無尽にセンター内を走りまわる。山あり川ありの環境は都会住まいの子供にとってはとても新鮮。途中、リーダーが主催するイベントに参加したり、綱引き大会を鑑賞したり、和太鼓の公演を楽しんだりと参加者を飽きさせない。あっという間の4時間。家族ともども存分に楽しませて頂いた。

オータムフェスタを始め夜桜フェスタ、各ワークといい、リトリートセンターでのイベントはいつも活気があっていい。参加人数の多さもあるが、参加者が楽しんでいる様子がよくわかる。来客ではなく参加してみたくなる様な雰囲気。近い将来、我がクラブでもぜひ参加しましょう。でも、これだけの屋台が揃っていると、なにを提供するか迷ってしまいますが・・・。



東京サンライズクラブからの報告

11月21日(土)グラディスで第二例会を開催しました。協議・連絡等サット終わらせ、メインイベントの次期会長、次期部書記・会計をどうするかの話し合いに移りました。第一例会で立候補をお願いしてあったのですが、10日間 どなたからも申し出がなく、今日に至りました。話し合いが始まり、重苦しい雰囲気になりました。それぞれに、それぞれの事情があり、皆顔をうつむけ、言葉が少なくなりました。次期部書記・会計は比較的簡単に決まりましたが、どうしても会長が決まりませんでした。欠席裁判もあると通告してあったのですが、それでも意見も聞かずに決める訳にも行かず、電話で確認を取りながら人選を進めました。結局、出席者の一人が2回目の会長を引き受け落着きました。来年はまた同じことがくり返されるのかと思うと気が重くなります。

仕事、介護、事情は良く分かるのですが、会長になることはそんなに大変なことなのでしょうか。

植樹式

サバエキャンプ場

11月7日(土)
岡西 博司



11月7日(土)晴天の下、我プリンスワイズメンズクラブの植樹式がサバエキャンプ場で行われました。プリンスクラブ25周年事業の一つとして、「子供達の未来の為に」と言うタイトルに恥じない為にも、この木からスタートしたい。新生プリンスの象徴として、僕たちの期待をいっぱい貰って大きくなって欲しい。そんな思いで、サバエにバイクを飛ばしてやってきました。小野Yサ委員長の下、古川書記、北野ワイズ、森ワイズ、岡西ワイズの合計5名(ちょっと寂しい人数)で、賑やかに行われました。

約30分ほどのセレモニーでしたが、晴天の下、とっても気持ちよかったです。

とっても立派な木で、高さ約5mほどです。名前が素晴らしい「ハナナシ」。我プリンスクラブらしい?名前でしょうか?フレンドシップハウスの前に、しっかり植えてあります。これから5年、10年経ったら、きっと素敵なお木になるでしょう。みんなで水をやりにいきましょう。そしてハナナシの花を咲かせましょう!次の世代を担う若者を育てるキャンプ場に、僕たちの夢を乗せて、しっかりと根を張って育ってくれる事を、心の底から願う物です。



ワイズデー

2009年11月1日
金丸太一郎



今年のワイズデーは、エイズ予防対策協議会「あ・うん」理事 江崎久美子様を講師にHIV/エイズについてしっかりと知識を持つと言うことで開催されました。

日本では、先進国と言われる国の中で、唯一増加傾向にあり、感染者は氷山の一角であり若年層に性感染症が急激に増え続けているそうです。ワイズメンズクラブは、HIV/エイズの拡大を防ぐために世界的な統一事業として取り組んで5年目になるそうです。この病気を予防、あるいは共に生きるには、きちんとした知識や理解を持つことが大切です。

エイズは、HIV感染してから数年から10年してエイズ発症と診断されます。しかしHIVは、感染力が弱く性行為以外の社会生活の中ではまずうつる事はないそうです。したがって、性行為をするときはコンドームを正しく使用することが予防の第1歩です。そのために「あ・うん」は、コンドームの無料配布もしていただけるそうです。

このお話を聞いて、特に中高校生にHIV/エイズの基礎知識を持ってもらう事が一番でわなないかと思いました。又、感染が心配な時は、保険所や医療機関など専門も場所で検査を受けると良いそうです。心あたりの有る人は早々に検査を受けて下さい。

国際協力募金

2009年11月20日
小野 敏明

11月はYs 関連の行事が多い月。その始まりを毎年飾る【国際協力募金】に今年も参加。今回を含めて3年連続の参加になるが、今年は雨に見舞われて募金を行う環境としては過去最悪の状態に・・・。

セクションリーダーを任された手前、集合時間の30分前に到着。初めは小降りだった雨。しかし、募金開始時間が近づくとつれて強く降り出した雨は、いよいよ本降りに。

集合時間10分前、募金が行える環境でないにも関わらず、ぞくぞくとメンバーたちが集まる。東稜クラブのメンバー8名を始め、リーダー2名、YMCA語学留学生10名、野外人のメンバー9名など合計30名近い仲間が集結。あいにくの天気ではあったが、昨年、一昨年より多い人数に驚く。早速配置についての募金開始。ドシャぶりの雨の中の募金活動。今年は人数も多く、また若人も多いので例年以上の募金金額を目指しての活動。が、気持ちを込めて募金を呼びかけるが、肝心の通行人の数が例年の3分の1程度・・・。

約1時間30分程度の募金。集まった金額は【¥11,000-】。もちろん、募金金額は例年を大きく下回るが、状況を考慮すると十分すぎる結果だと思う。この雨の中、集まったメンバーの皆様を始め関係者の皆様本当にお疲れさまでした。また、募金を頂いた方々にもお礼を申し上げます。

YMCAって何してるの? どんな人が居るの?

中京青少年活動センター
酒井 彩乃



京都YMCAで4年間野外リーダーをし、京都YMCA職員として、(財)京都市ユースサービス協会に出向。京都市内7箇所ある京都市青少年活動センターの1つ、中京青少年活動センターで“ユースワーク”という仕事をしています。子どもから責任ある大人へと成長する青少年を「支援」していくという役割を担っています。「支援」とは、あらゆる社会・地域活動の参加、また青少年の興味関心を豊かにし、情報提供や様々な情報・人的・物質的資源を得られるような機会を提供しています。

京都YMCAでのリーダー活動の中で、「大きくなったらリーダーのようになりたい」と言う子どもたちに出会いました。自分の存在がその子どもの人生や夢に影響を与えていることにやりがいを感じ、リーダーという存在やYMCAの野外活動が子どもたちに与える影響について考えるようになりました。

“ユースワーカー”とは、“先生”ではありません。子どもたちにとってリーダーがそうであったように、“ユースワーカー”は青少年に寄り添い、一緒に揺れて、タイミングを見計らってたまにポンッと背中を押してあげる。そんな自分の存在が、出会った青少年のちょっとした悩み解決、自立、興味をもつ、夢をもつ・・・などのきっかけになればと思っています。

今年は、恒例のYMCA大会に参加する事が出来、非常に満足しています。YMCA大会は、2年に一度の間隔で、いつも東山荘で行われているようである。僕は、今回で4回か5回くらい参加しているようである。(実はあんまり覚えていない。)10月30日(金)から11月1日(日)の2泊三日のプログラムである。月末で忙しいのに、仕事をほったらかして、朝7時過ぎに家を出てきたのです。

今年のテーマは「昨日、今日、明日、つなげようYMCAの願い」。なんか、漠然としているようであるが、我々YMCAに繋がる一人一人が、YMCAのミッションとも言うべきことを、再度確認して、その事を今日どのように具体的な活動として行っているのか、そして、将来のYMCAに、何を託していくのか。我々にとって最も大事なテーマである。初日の講演は、酒井哲雄氏、戦後のYMCAを作り上げてきた中の一人であると言っても過言ではないでしょう。ユーモアたっぷりに喋られる内容に、いつの間にか時間も忘れて引き込まれてしまいました。改めて感じさせられたのは、本当に素晴らしい人達と出会ってこられたその経験を生かして、次に引き継いでくれる人を育ててこられたことである。

又、翌日は、その酒井様とYMCA同盟の名誉主事である宮崎幸雄氏との掛け合い漫才のような講演。これもまた、時間を忘れさせてくれるよう一時でした。共に共通して言えることは、人との出逢い、人との和、人を通しての行い、人・人・人である。YMCAは人である。このことを肝に銘じたしだいであった。

分科会においては、京都YMCAのプログラムである、「青い空と白い雲のキャンプ」と「マイマイの活動」を、皆さんに紹介させて頂きました。夜は、お決まりの懇親会。リーダーからスタッフ、ワイズメンその他いろいろな人達が、酒を片手に喋りっぱなし。又、新しい友人が何人も増えました。彼らと共に、とっても素敵な、素晴らしい時間を持つ事が出来、感謝でした。そうそう、一昨年まで、京都Yのリーダーだった村上君が、神戸Yのスタッフとして参加していた事も、ここに明記しておかねば。良い男に成長していて、嬉しかったです。みんなと再会を誓って、京都に戻ってきました。この体験を、是非、みんなと分かち合い、これからのワイズ活動の指針としていきたいものです。乞うご期待を！

* * * * *

YMCA大会の印象は、東山荘の黙想館と初雪を頂いた富士山、日本中から集まるYMCA大好き人間、そのどちらも私の心を優しくしてくれます。ここ十年近くYMCA大会に参加する機会を失い、YMCA大会そのものを忘れていたのですが、YMCA大会の案内が目に入り、黙想館からの富士山とYMCA大好き人間達に会いたくて御殿場の東山荘へ行ってきました。仕事の都合でフル参加とはなりませんでした。2日日目の昼食から参加することができました。

今年の大会は、「昨日」までのYMCAの歴史と運動を確認し、「今日」のYMCAの課題を知り、「明日」のYMCAの使命に向かおうをテーマに、「この指とまれ」の定版プログラムが展開され、幾つもの分科会の中で、私は京都YMCAから発信する「青い空と白い雲のキャンプ」と「聴覚障がい児プログラム研究会マイマイ」の活動発表のお手伝いをして、その後、名古屋YMCAからの「発達障がい児プログラム」の発表に参加しました。

夜のアトラクションタイムは、シンガーソングライターでもあり絵本作家でもある中川ひろたかさんのワンマンショー。とてもYMCA的な楽しい時間でした。そしてその夜の深夜に及ぶ交流会は、参加費千円の飲み放題。Yのリーダー、Yの職員、ベテラン正会員にベテランワイズメンとYMCA大好き人間達で盛り上がっていましたが、酒に弱い私は、最期を見届ける事なくベッドに入りました。

西日本区大会などではめったに参加しないのですが、東山荘ではいつも聖日礼拝に参加。今回の説教は中見透牧師。話を聞いているうちに以前にも中見牧師の説教を聞いたことを思い出しました。その時に強く心に響くものがあり、今回もまた心に響くものがあったので、中見牧師を思い出す事が出来たのでしょうか。

3日目は昼ご飯を食べて大会は終了します。プログラムは、グループディスカッションとそのまとめの発表。この時間は参加者にとっては大切な時間。YMCA大好き人間達が思いを共有でき共感できる時間だから。コーディネーターは、われらが連絡主事、神崎清一総主事でこの大会の運営委員として参加されていました。総勢約150人の参加、2年に一度開かれるYMCA大会、いっぱい貰ったYMCAの精神を忘れそうになった時には、また来たらいいなあと思いながら東山荘を後にしました。



人が人として生きていくのに大切なことは、一人の人間として認められること、つまり「尊厳」をもって生かされること。それは番号や代名詞で呼ばれるのではなく一人の人間として名前と呼ばれる存在であることではないでしょうか。またあわせて、「居場所があること」が重要と考えます。その場所においても良いという存在、家族や友人の間で生きることが赦され喜びであることが感じられる存在。この二つが最低限の条件ではないでしょうか。この二つが認められない存在であることが、紛争や差別、引きこもってしまうことや他者を平気で傷つけてしまう社会状況を生み出しているように思えます。

さて、泊まる宿がなく途方にくれていたヨセフとマリヤ夫婦は、馬小屋でイエス様を生む事となりますが、そこは喜びにみたまされ、待ち望んでいた子供として祝福されます。神様が私たちにくださった素晴らしい贈り物です。

この良きクリスマスには、私たちが生かされていることをあらためて感謝し、尊厳が認められず居場所が与えられないでいる人々のことを憶え祈りをあわせましょう。クリスマスおめでとうございます。

1. クリスマス献金受付中

クリスマス献金への、ご協力よろしくお願い致します。キャンペーン期間は12月1日～1月31日となります。

2. 会員クリスマス

京都YMCAでは、今年もクリスマスのプログラムを行います。一般の方もご参加できます。ご家族、お友達で是非ご参加ください。

クリスマス礼拝・キャロリング

日時 12月18日(金) 礼拝・キャロリング午後7時～9時
解散予定 礼拝・奨励 春名康範牧師(関西セミナーハウス活動センター所長)

場所 三条本館および三条寺町界限・新京極周辺でキャロリング

ロビーコンサート

14日(月)～18日(金) 午後6時30分～7時

14日(月)弦楽四重奏(京都大学生)

15日(火)ハープ演奏(近藤謹子さん)

16日(水)ハーモニカの調べ(デュオ・ユットラ)

17日(木)ゴスペルミュージック(Vocal Unit Joy)

18日(金)ハンドベル演奏(京都ノートルダム女子大学ハンドベル・クラブ)

19日(土)ジャズ演奏(浦上ご夫妻)

3. スキーキャンプ参加者募集中!

会員外の方は各キャンプ費用のほかにシーズン会費2,000円(ファミリーは4,000円)が必要です。

A. 白山スキー 初心者～中級者向き

対象 小学1～6年生 日程 2月12日(金)夕～14日(日)夜 2泊3日(2泊7食) 定員70名(最少催行人数15)

行先 白山瀨女高原スキー場(石川県)

宿泊 金沢学院大学白山麗研修センター

費用41,000円(内申込金8,000円)

B. リトルキッズスキー春 初心者～中級者向き

対象 小学1～2年生 日程 3月26日(金)朝～30日(火)朝 4泊5日(4泊11食うち車中1泊)

定員60名(最少催行人数25名) 行先 志賀高原横手山スキー場(長野県) 宿泊 木戸池温泉ホテル

費用65,000円(内申込金10,000円)

C. 小学生スキー春 初心者～中級者向き

対象 小学3～6年生 日程 3月26日(金)朝～30日(火)朝 4泊5日(4泊11食うち車中1泊)

定員60名(最少催行人数25名) 行先 志賀高原横手山スキー場(長野県) 宿泊 木戸池温泉ホテル

費用65,000円(内申込金10,000円)

D. 中高生スキー春 初心者～中級者向き

対象 中学1年～高校3年生 日程 3月24日(水)夜～30日(火)朝 6泊7日(6泊10食 うち車中2泊)

定員30名(最少催行人数15名) 行先 野沢温泉スキー場(長野県) 宿泊 野沢温泉ホテル

費用69,000円(内申込金10,000円)

E. チャレンジスキー春 中～上級者向き

対象 小学4年～高校3年生 YMCAワッペンテスト5取得または緩斜面でのパラレルターンができる方対象となります

日程 3月24日(水)夜～30日(火)朝 6泊7日(6泊10食、うち車中2泊) 定員30名(最少催行人数15名)

行先 野沢温泉スキー場(長野県) 宿泊 野沢温泉ホテル 費用69,000円(内申込金10,000円)

4. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ、第35回苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 2009年12月19日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人300円(お茶代等)

お申込は 京都YMCA 075-231-4388または

vb@kyotoymca.or.jp

Happy Birthday

DESEMBER

2日 利川 彰男 ワイズ

今月のスケジュール

12月

2日(日) 第一例会 グランドプリンスH

14日(月) Xmasロビーコンサート

～18日(金)

18日(金) クリスマスカロリング

22日(火) 役員会 京都YMCA

23日(水) Xmas例会 グランドプリンスH

役員会報告

<承認された議案>

古川ワイズ次期会長辞退の件

次期会長に森ワイズ推薦の件

次々期会長に岡西ワイズ推薦の件

Xmas例会登録料 メン3千円、メネット・コメント(大)5.5千円、コメント(小)2千円 ゲスト8.5千円